

- ◆企画名 『整理収納アドバイザー・吉川裕子さんに聞く！片づけたくなる部屋づくり』  
 日程 2016年4月26日（火）  
 場所 誠之館3号館新館会議室  
 参加者数 18名（ピア・サポーター6名、一般学生12名）  
 目的

収納術やおすすめグッズなどを教えていただき、一人暮らしを行う関大生が効率よく収納し、整理整頓できる方法を身に付ける。

#### 内 容

整理収納のコンサルティングやセミナーなどをされている整理収納アドバイザーの吉川裕子氏に講演をお願いした。トークテーマとしては、①整理の効果、②整理収納の手順、③おすすめの収納グッズなどで、プレゼンテーション形式で進行された。また、整理収納のレベルを知れるチェックシートを用い、参加者も積極的に参加できる形で講演が行われた。

#### 効 果

アンケートの結果では、講演会に参加したほとんどの人の参加理由が「内容に関心があった」で、男女問わず参加してもらうことができた。また講演内容に「満足」との回答が多く寄せられた。それに加えて、「多くの収納グッズを知れてよかった」「片付けをこれから頑張っていきたい」などの前向きな回答も多数あった。

#### 改 善 点

- ・講演会数日前に会場変更となり、参加者を混乱させてしまった。  
→会場を予約する際、参加者が集まらないことを想定して予備の会場を予約し事前にその会場も参加者に伝えておく。
- ・会場のレイアウト（ポスターをどこに貼るか、机やいすの配置）をあらかじめ考えていなかった。  
→簡単でよいので、事前に会場の見取り図を作っておく。
- ・アンケートの回収率が低かった。  
→参加者が少人数の時は紙でアンケートを行い、KUSPのメンバーを出入り口に立たせてそこでアンケートを回収する。

また、下記の3点が主な原因で参加者が多く集まらなかったと思われる。

- ・情報共有（参加者の人数等）が遅れたので、コミュニティ内で参加者がどれくらい集まっているか伝わっておらず、本企画の参加者の人数についての認識が低かった。  
→企画の進捗状況を逐一報告し、参加者が少ないときは早めに報告し他のメンバーに参加者募集の呼びかけをしてもらう。
- ・インフォメーション文やポスターのタイトルに見ている人を引き付けるような魅力的な言葉がなかった。  
→コミュニティ内で、タイトルやポスターについて案を共有し、意見を求める。
- ・時期的にサークルや部活の新歓と重なってしまい、こちらの企画に目が向かなかった。  
→企画を実施する時期に他のイベントが企画されているか、対象の参加者がどの時期なら集まりやすいかを考慮して実施する時期を考える。

#### 感 想

講演会に参加してくださった参加者には、満足していただき片づけのきっかけを提供することができたのではないかと思います。しかし、今回の企画では参加者がさほど集まらないという結果になってしまった。改善点にあるように、コミュニティ内でしっかり情報共有を行う、実施時期についてよく考えるなど様々なことに目を向ける事が大切であると思った。